シーサー

1945
1972
2022

沖縄本土復帰50周年記念

子どもの権利条約フォーラム
第30回記念大会

子どもの権利条約フォーラム2022 in那覇/沖縄

ワラバー

参加費無料

12月10(土)・11(日)

会場：沖縄大学（那覇市字国場555）

メインテーマ

知ってる？あなたとわたしと沖縄の「今」
～子どもの権利から考える ○×△□ ～

※『○×△□』は、参加者それぞれで考えてみよう！

キジムナー

■ 開催スケジュール

日　時	13：00～15：00	15：20～17：20
12/10(土) 昼から開催！	～メインセッション～ ・オープニング　・ディスカッション ・各地域の子どもと意見交換	分科会：A（#1～#10）

日　時	9：30～11：30	13：00～15：00	15:20～17:20
12/11(日) 朝から開催！	分科会：B（#11～#20）	分科会：C（#21～#30）	クロージング
	～プレーパーク～　9:30～12：00		

主催：子どもの権利条約フォーラム in 那覇／沖縄 実行委員会

子どもの権利条約フォーラム 2022 in 那覇／沖縄

12/10（土） ～メインセッション～

13：00～15：00

オープニング

祝 30 回！子どもの権利条約フォーラムを振り返る

1989 年に子どもの権利条約が国連で採択され、1993 年よりフォーラムが開催されてきた経緯、これまでの社会の変化について振り返ります。

ディスカッション

子どもの権利を、沖縄の子どもの現状から考える

子どもに関わる人たちの手で発刊された『復帰 50 年沖縄こども白書 2022』の執筆者とともに、沖縄の子どもの現状について子どもの権利条約の視点から考えます。

各地域の子どもと意見交換

子どもと考える、子どもたちの「今」

会場と県内外の子どもが活動する団体とをつなぎ、子ども達が「今」感じていることについて、意見交換します！

12/10（土） 分科会：A

15:20～17:20

対面とオンライン
対面のみ

	企画名	分科会内容	主催団体
1	子ども参加のまちづくり、首里城正殿復元に向けて	首里城正殿復元まであと4年、首里まちづくり基金という基金の使いみちを高校生らと考えるワークショップです。まちづくりに子どもたちが参加できるモデル作りを目指しています。	首里まちづくり基金運営委員会
2	保育事故をくり返さないために	沖縄県内で乳児が保育施設で死亡するという悲しい事故が起きました。どうしたら事故を防げるのでしょうか。研究者、県外の保育事故当事者家族（遺族）等とともに、保育事故の現状や、今後、取り組むべき課題等について考えます。	一般社団法人 Co-Link、赤ちゃんの急死を考える会、保育の重大事故をなくすネットワーク
3	かるたで子どもの権利を楽しく学ぼう	『世界の子ども権利かるた』で遊びながら、子どもの権利について学びます。自分のとった絵札がどのような意味があるかについて話し合います。	認定 NPO 法人 国際子ども権利センター（シーライツ）
4	子どもは学校で子どもの権利が守られているか。守られていないとしたらなぜなのか	沖縄県は不登校児童が増え続けています。子どもたちにとっての学校が今どうなっているのか。子どもの権利は守られているのか、守られていないとしたらなぜなのかをしっかり話し合うことで、子どもの権利条約を真に活かす学校を目指したい。	沖縄県民間教育研究所
5	こども基本法と子どもの権利～意義と今後の課題～	本キャンペーンでは、子どもの権利を基盤としたこども基本法の制定を訴えてきました。政策提言の過程やこども基本法・こども家庭庁についての概要、その意義と今後の課題を子どもの権利の観点からお話します。	広げよう！子どもの権利条約キャンペーン
6	子どもの権利条約と子どもの居場所	子どもの居場所の活動を子どもの権利条約の視点から整理する。モデル的な活動を共有しながら、子どもの居場所がさらにできることを参加者とともに考えていく。	那覇市社会福祉協議会（子どもと地域をつなぐサポートセンター糸／子ども食堂サポートセンター那覇）
7	外国につながる子どもたちと共に～つながる、育む、楽しむ～	外国につながる子どもたちの現状や取り組みを共有し、地域コミュニティーの「つながり」の可能性について考えます。いろいろな想いや希望を、未来にむけて、ゆんたく（おしゃべり）しましょう。	多文化ネットワーク fu ふ！沖縄コラボ
8	子どもの権利　なんでやねん！すごろく in OKINAWA	子どもたちの声から、子どもたちが作った「なんでやねん！すごろく」を持って、大阪から参加します。子どもの権利条約を学びながら、子どもは意見表明！大人は「聴く」スキルアップ！どなたでも参加できます。	子どもの権利条約関西ネットワーク
9	子どもの権利と私の権利を考えてみよう	海外の子どもの権利に関する事例を参考にしながら、日本の子どもたちが自分たちの権利について考える。	NPO 法人ちゅらゆい x 林大介
10	「学校」と「家庭」以外の選択肢を広げるために	平日の日中、子どもの居るべき所は「学校」と「家庭」の 2 つしかなく、そこ以外の選択肢が 0 に近い。親も子も安心して過ごせる場作りをいろんな立場の方と語りあい現実的構想を作成し実現への一歩の機会とする。	NPO 法人 1 万人井戸端会議 いどばた学童クラブ

12/11 日 分科会：B

9：30～11：30

対面とオンライン
対面のみ

	企画名	分科会内容	主催団体
11	これからの医療的ケア児の保育と教育	昨年 9 月に医療的ケア児法が成立したが、沖縄県内の取り組みはこれからである。県内の実践者から課題を聴きこれからの取り組みについて議論を深める。	おきなわふくしオンブズマン
12	アドラー心理学で心の栄養素・4つのカップを満たすには	子どもの権利を、子ども自身が行使する主体であるべきだと、アドラー心理学育児では考えています。無自覚な善意で子どもの権利を侵害しないよう、子どもへのよりよい対応を考えるワークショップをします。	なかよしプロジェクト＠アドラー心理学
13	子どもの権利条約とこども基本法～国際的視点から	6月にこども基本法が成立し、こども家庭庁も来年4月に設置され、これらに向けた取り組みが多々行われています。こうした状況を踏まえ、平野裕二さんを講師に、コロナ下での国内外の子どもの権利条約を取り巻く状況について深めます。	子どもの権利条約ネットワーク
14	子どもが主体的に活動できる放課後	児童館・学童クラブの職員として子どもの声を聴き、活動に活かせているだろうかという事を大人目線・子ども目線で考えていきたい。	NPO法人沖縄県学童・保育支援センター、一般社団法人りあん
15	子どもの権利を守る居場所とは？	子どもの権利を推進するための研修プログラム開発の取り組みを報告し、その中から子どものセーフガーディングをベースにしたワークショップを体験していただきます。	認定 NPO 法人 ACE、NPO法人ちゅらゆい
16	「子どもの話を聴く技術」体験セミナー	子ども支援の現場で、子どもの話をもっと聞きたかったのに…という経験はありませんか？シンプルな投げかけで、子どもが安心して話せるようになる聴き方をご紹介します。※国内外で住民主体の活動を生み出してきたメタファシリテーション手法がベースとなっています。	認定 NPO法人ムラのミライ
17	就学移行期における「子どもの声」の検討	「こども家庭庁」が設置されることに伴い「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」が設けられました。本分科会では、架け橋を渡る主体である「子どもの声」を聴きながら、就学移行期を検討してみたいと思います。	架け橋を渡る子どもの声検討ネットワーク
18	小学校の授業でも実施中！CAP 子どもワークショップ	CAP プログラムは子どもが様々な暴力から自分の身を守るための人権教育です。学校で行っている CAP（暴力防止）プログラムの一部を模擬体験してもらいながら、子どもの力を引き出すために、私たちおとなにできる関り方について考えます。	特定非営利活動法人おきなわ CAP センター
19	子どもの食の安全を守るために～食の安全・地産地消・オーガニック給食へ～食べることをもっと大事に！食べものが君の体を作っている！	知っていますか？発達障害やアレルギー、肥満やうつ等、体と心の問題で困っている子が増えています。原因の１つは「食」。食を変えて元気になった例や自分で健康を守る食べ方等、すぐできることをわかりやすく伝えます。	キッチンから社会を変える！あんまーずネットワーク
20	ボランティア学生が考える子どもの人権～子どもの居場所でのボランティア活動を通して～	子どもの居場所学生ボランティアセンターの事業概要や、設立７年目を迎えるに至る経緯を紹介、また日ごろボランティア活動にあたっている学生の活動報告等を通して、子どもの人権を尊重するために必要な支援例の一つを提示する機会とする。	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄子どもの居場所ボランティアセンター

出張！はんたがわプレーパーク

12月11日（日）9：30～12：00
at 沖大芝生広場
主催団体：那覇市繁多川公民館・沖縄プレーパークねっと

申込不要

「やってみたいこと、なんでもやってみよう！」水やどろんこ、木材、ロープなどいろんな素材や道具を使って、おもいっきり自由に、五感をはたらかせてあそんでみよう。

子どもからおとなまで

12/11 日 分科会：C

13：00～15：00

対面とオンライン
対面のみ

	企画名	分科会内容	主催団体
21	未成年の主張～こんな子どもたちがいます！～	私たち「くじらぐも」は過剰な感染対策や化学物質過敏で学校登校を控えたり、退学をした、未就学児から高校生がメンバーです。私たちが経験したことを元に「子どもの権利」とこれからの公教育について参加者と意見交流します。	くじらぐも
22	不登校の体験者が語る～こんな学校あったらいいよね～	不登校を経験した中高生たちを中心に、こんな学校あったらいいな、を語り合います。大人も子どもも学校に行ってる人も行ってない人も学校について語りましょう。	NPO 法人ちゅらゆい
23	「労働者協同組合法」を活用し、子どもの人権が守られる地域づくりを	２０２０年に成立した「労働者協同組合法」は市民が自立的に地域づくりに向かうことを応援する法律です。「子どもの未来を守りたい」皆さんに新しい法律の概要と実践事例をお伝えし、子どもの人権が守られる地域づくりを一緒に考えます。	日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）センター事業団
24	部活動派遣費問題にみる体験保障	みらいファンド沖縄では、部活動派遣費の助成を行いながら、背景にある課題を調査しています。分科会では、派遣費問題を子どもの権利と照らし合わせ、課題の本質とあるべき姿をワークショップを行いながら共有します。	公益財団法人みらいファンド沖縄
25	家庭に居場所がない子どもの保護と自立支援 ～沖縄県内の連携と子どもアドボカシーの実践から～	虐待やヤングケアラー等、家庭に居場所がない子どもたちを保護、自立支援する子どもシェルター。そのような子ども支援における沖縄県内における連携、子どもの権利保障のためのアドボカシーの実践についてお伝えしたいと思います。	NPO法人子どもシェルターおきなわ
26	困窮世帯の支援団体や当事者について	沖縄県の社会問題の一つである子どもの貧困について、高校生なりの見解、そしてその問題の根本の改善方法等を発表し、参加者の皆様とのグループディスカッションを通して、また新しい改善点や貧困に対する捉え方を共有しましょう。	高校生団体 Lux（ルークス）
27	地域に生きる子どもの居場所～子どもと地域を“遊び”でつなげるプレーパーク～	自分の責任で自由に遊ぶ場所であるプレーパークは、自由に遊び、休息し、安心して人間関係を作り合う場所として大きな可能性を持っています。実践報告を軸に、居場所としてのプレーパークについて語り合う分科会です。	沖縄プレーパークねっと
28	在住外国人から学ぼう！子どもの権利	沖縄県内に暮らしている外国ルーツの子どもやその保護者とともに、言葉と文化と制度の壁について声を聞き、参加者とともに多様性について考える時間とする。	NPO法人沖縄 NGO センター
29	地方議会議員に聞く、子どもの権利条例制定までの道のりと壁を乗り越えるアイデア	すでに子どもの権利条例を制定している自治体の議員に、条例制定までの道のりと、その際の課題と乗り越えた手法について聞き取りを行う。フォーラム当日はその情報を共有し、沖縄での条例制定を後押しする機会としたい。	那覇市議会議員有志
30	政策をつくる人と話そう！子ども・ユースキャラバン（仮）	こども家庭庁が 2023 年 4 月に発足することを見据えて、子どもに関する政策について子ども・若者が自分たちの声を政策決定者に伝えるためのワークショップを行います。	広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

★クロージング★

12月11日（日）15：20～17：20

子どもの権利条約フォーラム2022 in 那覇／沖縄

◆アクセス

ゆいレール旭橋駅 ⇒ 那覇バスターミナルより 那覇バス⑥ 那覇おもろまち前広場行 ⇒「沖縄大学前バス停」下車。
※出来るだけバスや車、タクシー等の乗り合わせでお越しください。

◆駐車場情報（台数には限りがあります）

沖縄大学近く、ファミリーマート長田店の奥手に「沖大第２駐車場」があります。

開催趣旨

子どもの権利条約とは、「子どもが一人の人間として基本的人権を所有し、行使する権利」を保障するための条約です。この条約に掲げられた権利を実現できる社会にするために、子どもの権利について多くの市民に知ってもらい、県内外で活動する市民、NPO、企業、行政が、つながり、学び、対話し、行動するための場として、30 回目の開催となる子どもの権利条約フォーラムを日本の施政権下に復帰して50年目の沖縄で開催します。

子どもの権利条約フォーラムとは

子どもたちが安心安全に暮らせるように世界で決めた「子どもの権利条約」をもっとたくさんの人に知ってもらうため、年に１回、全国各地で1993年から毎年開催されています。フォーラムを通して「子どもの権利条約」の実施・普及や子ども支援に取り組む個人・NGO/NPO などの団体交流、自治体との協力連携をすすめています。

お申し込み方法・お問い合わせ

- 申し込みは10月11日（火）から受付開始します。
- 子どもも参加できる分科会、オンライン参加ができる分科会などありますので、公式ホームページで詳細をご確認ください。
- 公式ホームページの『参加申し込みフォーム』からお申し込みください。
- 各分科会には定員があります。（先着順）

※ 社会情勢により、プログラム内容や時間の変更や中止になる可能性もあります。最新の情報はホームページをご確認ください。

申し込みは右記 QR コード
または下記 URL からどうぞ。

https://kodomokenri.okinawa.jp

- 申し込み締め切り／ 12 月 7 日（水）
- お問い合わせ
  メール／ 30crcforum.okinawa@gmail.com
  電話／ 090-7174-8949（山崎）

主催：子どもの権利条約フォーラム in 那覇／沖縄 実行委員会

■ 参加団体：

一般社団法人沖縄じんぶん考房／一般社団法人 Co-Link／ NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい／一般社団法人りあん／一般社団法人沖縄こどもみらい創造支援機構／NPO法人子どもシェルターおきなわ／ NPO 法人１万人井戸端会議／ NPO法人沖縄県学童・保育支援センター／一般社団法人南風原子どもオンリーワン／ NPO法人おきなわ CAP センター／沖縄県民間教育研究所／社会福祉法人那覇市社会福祉協議会（子どもと地域をつなぐサポートセンター糸 / こども食堂サポートセンター那覇）／沖縄プレーパークねっと／ NPO 法人エンカレッジ／ NPO 法人にじのはしファンド／広げよう！子どもの権利条約キャンペーン実行委員会／キッチンから社会を変える！あんまーずネットワーク／首里まちづくり基金運営委員会／認定 NPO法人 ACE ／ワーカーズコープ九州事業本部沖縄開発室／RK オフィス

■ 呼びかけ団体：子どもの権利条約ネットワーク

■ 後　　援：沖縄県、那覇市

■ 協　　力：沖縄大学

（2022 年９月現在）